

ARDECO NEWS 7号

特集 高齢者施設の今
地域住民を呼び込む仕掛け
インターデコムの取り組み



アルデコ再発見!

接着工法 失敗しない為の、取付施工ノウハウ

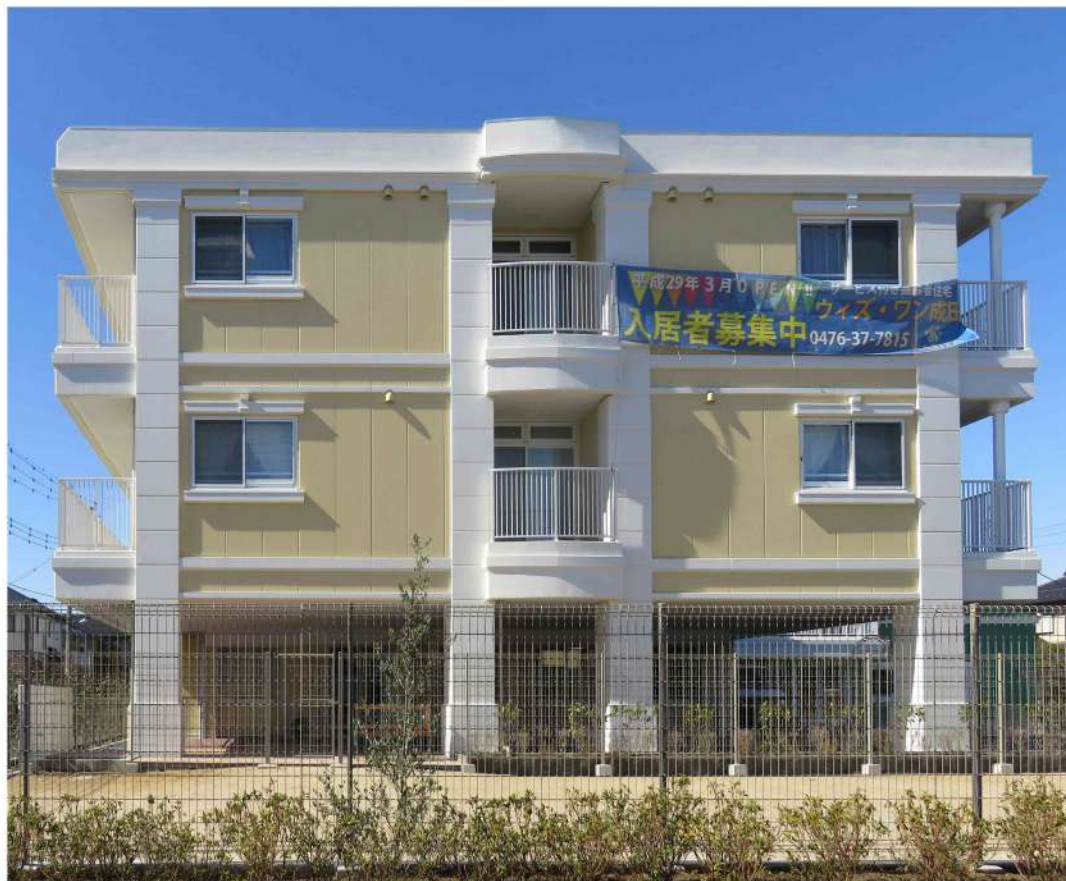
2017年4月5日発行

装飾建材

アルデコ

最新の施設運営から見てくる、高齢者向け施設の在り方を探ります。

2017年3月にオープンした、サービス付き高齢者向け住宅「ウィズ・ワン成田」の運営会社であり、多くの高齢者向け施設を運営する、株式会社日本ライフデザイン 事業部長 高橋純人 様にお話を伺いました。



アルデコ使用部位
モールドイング・窓額縁・窓モール・
ドア装飾・柱頭・柱（パネル）

地域住民を呼び込む仕掛け

株式会社日本ライフデザインの最近の施設コンセプトのひとつが、地域住民の方とのふれあいを重視することです。

その仕掛けづくりとして、例えば、グループ関連のある施設では、レゴブロックをコミュニケーションツールとし「ブロックでつなぐ地域との交流」を合言葉にしています。また、別の施設では、施設の中庭にクライミングウォールを設置し、ボルダリングの体験会や野菜市を開催しています。ウィズ・ワン成田も、周辺住民に気軽に訪れていただける、オープンな施設にしたいと考えました。

施設のコンセプトを考えると、建設地域のポテンシャルを拾いキーワードを出します。ウィズ・ワン成田の場合は、この地域では犬を飼っている人が多いことがわかり、「犬」というキーワードを選び出し、犬の散歩コースとしての「ドッグラン」や医療施設でも活躍する「セラピー犬」を導入することを決めました。セラピー犬は癒しの効果の他、外へ出て保育園等へ訪問するなど地域交流に役立つと考えています。

当社の施設では、特別養護老人ホーム並みのサービスを提供していますが、さらにセラピードッグの癒しやドッグランによる地域交流も推進します。

また、見学される方は、犬が出迎えてくれると笑顔になります。自分が入所された時のイメージが湧くようで、ここにもセラピー犬の効果がうかがえます。

外観デザインは地域との調和

ウィズ・ワン成田は商業施設の多いロードサイドにあり、交通量も多くにぎやかな地域です。その為、外観のデザインは高齢者施設らしくない「明るいイメージ」をと考えました。

ウィズ・ワン成田と同時期にオープンしたグループホーム「アンジューム所沢」は成田と違い住宅地にあり、周辺は静かです。その為、その地域に溶けこむように外観デザインは落ち着いたイメージにしてあります。

施設外観は近隣周辺のイメージに調和させることが大切です。



◇施設コンセプト◇「ウィズ・ワン成田は入居者の方の思いを大切に、おひとりおひとりに寄り添う、温かいサービスと快適な暮らしを提供いたします。
さまざまな活動やセラピー犬を通じて、地域の方々との交流も積極的に図っていきます。」

地域のニーズに合わせた施設

施設運営を検討する際、高齢者が“住み慣れた地域”で介護や医療、生活支援サポート及びサービスを受けられる”地域包括ケアシステム”という言葉がありますが、イメージも含め周辺のニーズに合わせて考えていく必要があります。また、人やテクノロジーとの出会いも、施設計画においては重要なファクターです。

例えば、介護付有料老人ホーム「アーバンリビング相模原」ではケータイ・PCで遠くのご家族が見守れるシステムを導入。このシステムとの出会いがこの施設のコンセプトになりました。

今後も新たな施設の計画はありますが、成田や相模原のように新たな出会いと、地域ニーズを加味して検討していきます。ですから、同じような施設は出来ないのではないのでしょうか。さらに、自由に運営できる自社運営という事業形態にこだわり、今後も展開していきたいと考えています。

外装のトータルコーディネーター

今回、インターデコムにお願いした経緯ですが、

外観のデザインが決まらないとき、新しいシステム（4DECO）を導入したと聞いて、興味を持ち相談することにしました。

建物を立体的に見せてくれるシステムは、非常にわかりやすいです。装飾部分の検討や外壁の色替えなど 2 次元では分かりづらいものが、良くわかりました。検討の上仕上がった 3DCG パースと実際に出来上がった建物は、ほぼ同じ！イメージ通りでした。現場の所長も驚いています。

インターデコムは外装に限って言うと、デザイン・設計から施工まで行なう”トータルコーディネーター”です。

アルデコは安価で施工しやすい製品です。成田の建物はS造（鉄骨造）の為、単純な箱型の形状でした。ともすると学校や倉庫的イメージに陥りやすいのが難点でしたが、アルデコによってイメージを変えることができました。

ケアハーモニーという調和

施設は、バランスが重要です。「コンセプト・サービス・イメージ」これらの調和が崩れると働くスタッフのサービスもバラバラになり、上手いかわからないと思います。施設イメージは外観デザインを含め、とても大事なポイントだと思います。

”ケアハーモニー”調和が施設運営のキーポイントであり、その意味でも今回のアルデコ導入は正しい判断だったと言えます。



■ 株式会社 日本ライフデザイン ■

【会社概要】

本社所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-4-12
銀座メディカルビル 6 階
TEL 03-6228-5020 (代)
URL <http://j-lifedesign.com/>
事業内容 有料老人ホームの経営を中核とした、各種介護サービスの運営業務

運営施設

介護付有料老人ホーム 葉山の丘 / 介護付有料老人ホーム 油壺マリーナヒルズ / 介護付有料老人ホーム アーバンリビング稲毛 / 介護付有料老人ホーム アーバンリビング相模原 / 介護付有料老人ホーム ベルビルガーデンやまと / ショートステイ・デイサービス やまと笑楽庵 / グループホーム・デイサービス ゆうらく / ショートステイ・デイサービス ARK TAKE / デイサービス ARK 葉山の森 / デイサービス ベルビルサロンつるま / デイサービス ベルビルサロン田園 / サービス付き高齢者向け住宅ウィズ・ワン成田 / グループホーム アンジューム所沢

■ サービス付き高齢者向け住宅 ウィズ・ワン成田 ■

【施設概要】

所在地 〒286-0013 千葉県成田市美郷台 3 丁目 8-1
TEL 0476-37-7815
FAX 0476-37-7816
開設年月日 2017 年 3 月 1 日
定員 38 名
URL <http://j-lifedesign.wixsite.com/with1narita>
併設施設 訪問介護ステーション ウィズ・ワン成田
ケアプランセンター ウィズ・ワン成田



セラピードッグ ウィズ

インターデコムの取り組み

ウィズ・ワン成田での弊社インターデコムは、外装装飾のデザイン・設計から取付施工まで関わらせていただきました。弊社がどのように関わったか紹介いたします。

外装デザインが決まらない

ウィズ・ワン成田の建築確認申請が終わったころ、(株)日本ライフデザイン様から建物デザインについてご相談がありました。建物設計を行った設計事務所様より外観デザインの提案をされましたが、施設のイメージに合わず、弊社に相談にこられました。以前に弊社のアルデコを採用していただいた実績があり、新しく始めた 3DCG を使用したプレゼンシステムに興味をもっていただいていたのでご相談です。

近隣に合わせた外装デザイン

外観デザインは、建物の立地がロードサイドであるため、近隣に合わせた明るいイメージで高齢者施設と感ぜさせないデザインを希望されていました。

そこで弊社から、メインゲートがある西面を施設の顔となるようなデザイン提案をしました。デザインはコストや工事状況など考慮し、何度かプランを練って仕上げていきます。

デザインの検討は実際に(株)日本ライフデザイン様と施設を設計した設計事務所様に、弊社「アルデコプレゼンルーム」に来ていただいて、モニターを見ながら具体的に検討して行きました。



装飾図面の変遷

図面を立体的に視覚化 3DCG

今回の打合せでは、事前に図面を基に立体的に視覚化(3DCG)しておきます。その完成イメージをモニターで確認し検討して行きました。

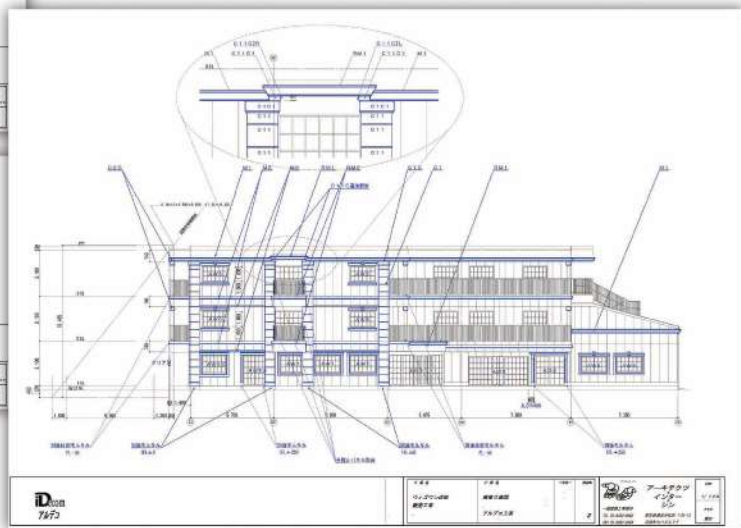
ここでのモニターを見ながらのデザインの検討とは、建物本体の変更がないことを前提とし、色替えや装飾材(アルデコ)の増減や移動をすることです。新たな形状の装飾材を作成することは時間がかかることから、この場ではしませんが、簡易的な形状であれば、追加が可能です。

完成に近い形を確認しながら、デザイン検討が可能となります。



配色の検討

例えば外装材の配色検討では、事前に色や材質のご指示をいただければ、それらを基に配色し、色のパターンの検討ができます。日塗工の色番号や壁材の画像を指定してください。塗装であれば、日塗工のカラーチャートを見ながらその場で新たな色を検討することも可能です。





アルデコ・装飾材の検討

装飾部分を検討するとき、建物のコンセプトに合わせるのはもちろんですが、建物の全体の印象や通り側から見える目線を意識して、デザインします。

ウィズ・ワン成田は、3階建て逆L型で横に長い印象を受ける建物でした。そこで、建物全体の印象を変えるために、縦方向への装飾提案をしました。これにより、建物を引き締め、間延びした印象を避けることができます。顔となる西面は装飾を華やかに、建物全体へは縦方向の装飾柱で引き締め感を出しています。さらに、使用用途や目線を考慮し検討していきました。

モニターを見ながら、装飾材の増減や移動、形状の検討、さらにバルコニーや窓周りの装飾など検討を重ねて最終案へと進めました。

完成した建物はイメージ通り

建物のデザイン決定後に、植栽や外構を作成、完成パースとします。最終的に竣工した建物は「完成パースのイメージ通り！今回のインターデコムとの関わりは、よかった。」とお褒めの言葉を頂いております。

「建物のオーナーや設計者がその場で外装デザインを検討する」これが昨年より導入したインターデコムのサポートシステム”4DECO”です。

建物を視覚的に確認し、デザインを確認できるので、完成時のイメージの差異が少ない建物を造ることができます。それが、トラブル回避に繋が

ります。

元請との調整・社内連携

アルデコは通常注文主のお客様（建物の工事元請会社）に取付施工を行っていただきますが、弊社で施工指導や取付施工を承ることもできます。

ウィズ・ワン成田では、工事会社がアルデコの取付経験がないことから、弊社で請け負うことになりました。

弊社が施工を担当する場合、施工担当者は、アルデコの取付けはもちろんですが、元請会社様との調整を担い「安全・工程・品質」を確保します。常に最新の情報を入手し、社内スタッフと迅速に連携をし、対応を図ります。

施工現場での即時対応力

建築現場では、図面上では計りきれない問題が生じることがあります。ウィズ・ワン成田では、現地での確認時に、図面上で計画されたボーダーモールの高さだと建物の水平目地に被ってしまう事が分かりました。将来的にメンテナンスしていく上で、水平目地を隠してしまうとシーリングの打ち替え時に大変な手間が掛かってしまう事が予測されます。すぐに弊社のデザイン担当設計と相談し、建物全体の雰囲気が変わらない範囲でボーダーモールの位置を変えました。

現場での不意のトラブルにも即時対応できるのがオーダーメイド製品であり、自社による企画・設計・製造・取付工事まで、一貫生産の強みです。



完成 3DCG パース



完成した施設

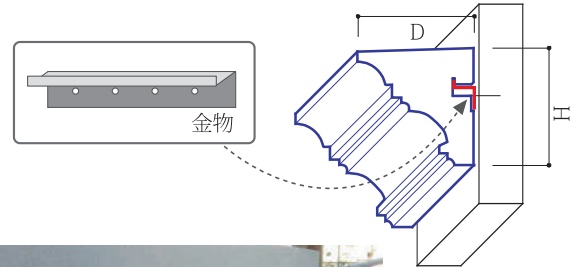
アルデコ再発見！

接着工法 失敗しない為の、取付施工ノウハウ

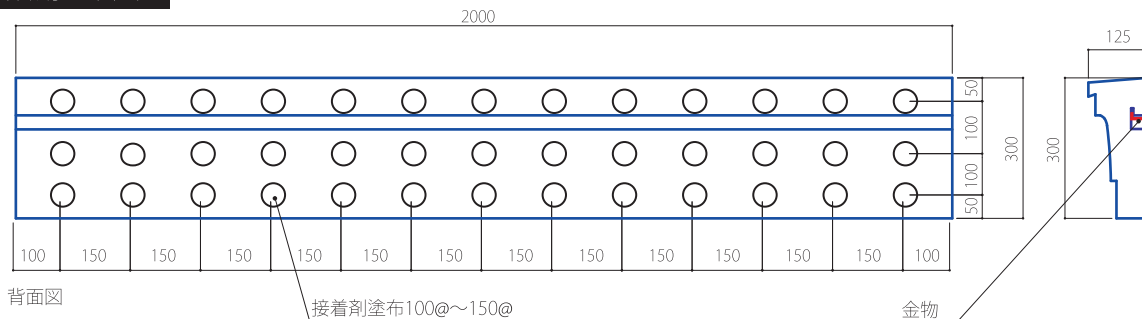
アルデコの取付けは接着工法を採用しています。指定の接着剤+金物の使用で取り付けます。その中で気を付けてほしい、取付施工のポイントを紹介します。

■施工方法

ダンゴ貼りでの接着+引掛け金物によるダブルホールド工法です。重量がある装飾材（GRC、FRPなど）の場合、金物は壁面内部の鉄骨などに荷重を依存させる必要があります。しかし、軽量のアルデコは壁面（RC、ALC、サイディングなど）に直接取付可能です。



接着剤塗布位置



背面図

接着剤塗布100@~150@

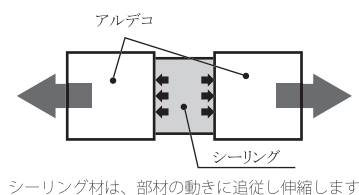
金物

■目地及びシーリングについて

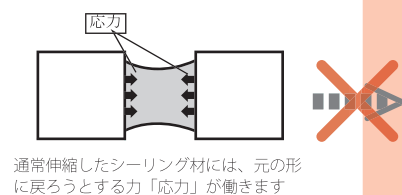
アルデコも他の建材同様に温度・湿度の変化や地震の揺れ・風圧によって伸縮や動きが生じます。アルデコ製品相互の動きを制御する為、目地が必要となります。

目地材のシーリングは動きに対して追従性が良好な、低モジュラスタイプの1成分形変成シリコン系シーラントのシーリングを使用して下さい。

① 部材の収縮・膨張

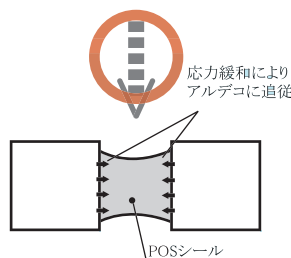


② 目地が拡大すると...

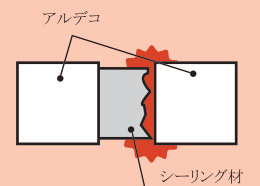


③ POS シール LM を使用した場合、応力緩和により、アルデコに追従し、剥離・破断といった現象を緩和します。

※弊社は「POS シール LM / セメデザイン(株)」を推奨します。



注) 一般のシーリング材を用いた場合



アルデコのように、被着体が柔らかい部材の場合、シーリング材の元に戻ろうとする力により、剥離・破断や部材を破壊してしまうケースが生じます。

※一般的に、2成分形シーリング材を使用した場合に見られる現象です。

■よくある質問 Q&A

Q：どんな下地が必要ですか？

A：接着可能な壁面が必要となります。

また、将来的にシールの破断などから雨水が取付モールの背面にまわる可能性が考えられます。適切な止水処理を行った下地面として下さい。(ALC など吸水劣化がある下地は注意が必要。)

Q：不陸はどの程度補修すれば良いですか？

A：ダンゴ貼りですので短いスパンの不陸は吸収できます。モールの長さ（原則2m）を超えるような不陸の場合、下地側に追従し、不陸が目立つため、事前の補修をお願いします。

Q：先に壁を塗装しても良いですか？

A：その場合、接着の対象が塗料面になるので、接着可能かどうかの判断が事前に必要になります。塗装と下地面の接着力が経年劣化していくと考えられますので、モール下地面への先行塗装は避けて下さい。なお、改修工事など既存塗装面への接着取付は避けてください。

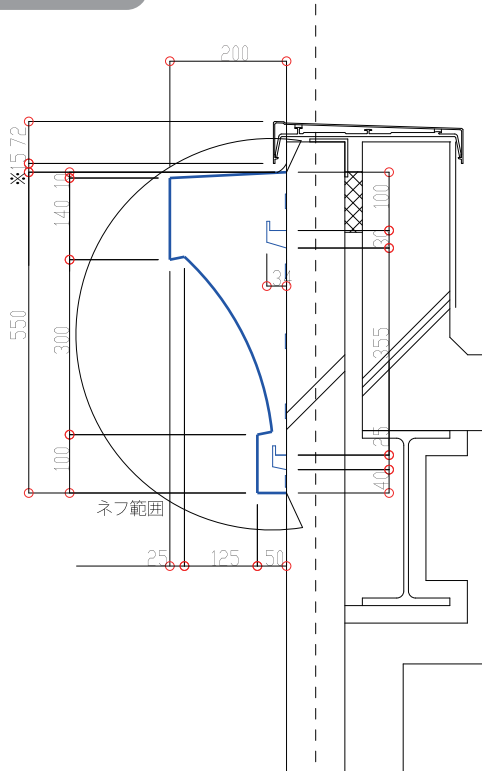
Q：接着剤だけで大丈夫なのですか？

A：接着主体の工法ですが支持金物を併用する工法です。

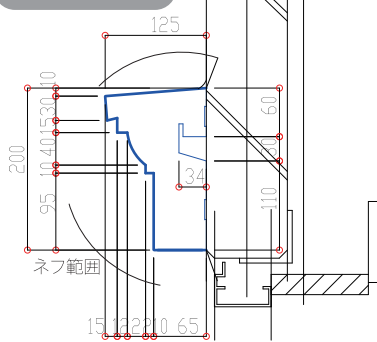
Check 取付施工参考図：ALC の場合

※ALCは吸水劣化がある下地です。適切な止水処理を行って下さい。

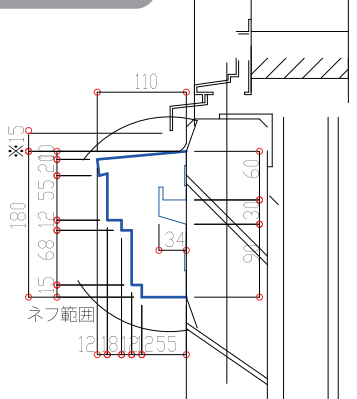
トップモール



窓 上枠・縦



窓 下枠



注記：※寸法は金物を使って取り付ける際に必要なクリアランスです。

インターデコムでは、
建物の装飾についてのご相談を承ります。

☎0120-978-413

インターデコムはメーカーですが、製品を提供するだけではありません。

約3,000件の採用実績があり、建物装飾のプロとしてあなたの疑問にお応えいたします。

お気軽にご相談ください。



インターデコムの Service

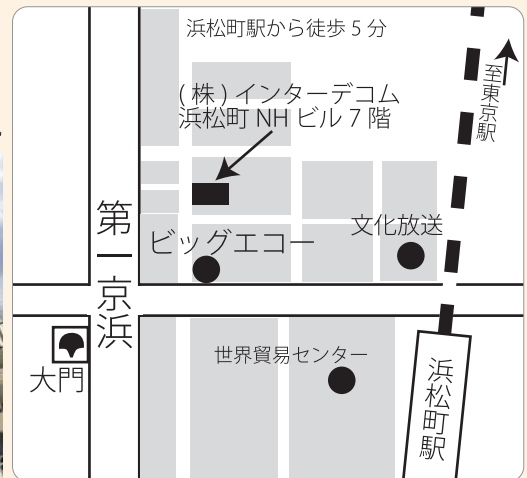
- デザイン提案
- 3DCG パースによる完成イメージの具体化
- アルデコの取付施工
- アルデコプレゼンルームの提供 他



アルデコプレゼンルーム



ビル外観



近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

販売代理店

■お問合せ先 編集・発行

株式会社 インターデコム

〒105-0013 東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル 7F TEL 03-6452-8901 / FAX 03-6452-8904

http://www.interdecom-co.com / E-mail ardeco-1@interdecom-co.com

「ARDECO NEWS 7号」2018年7月12日 第2版 第1刷発行

iDecom®

※ 許可なく本誌の全部もしくは一部を引用または、複製、転写などにより使用することを禁じます。 © 株式会社 インターデコム